

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 4 月 7 日 (2005.4.7)

【公開番号】特開 2004-54834 (P2004-54834A)
 【公開日】平成 16 年 2 月 19 日 (2004.2.19)
 【年通号数】公開・登録公報 2004-007
 【出願番号】特願 2002-215096 (P2002-215096)
 【国際特許分類第 7 版】

G 0 6 F 1/00

G 0 9 C 1/00

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 6 0 L

G 0 9 C 1/00 6 6 0 D

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 5 月 28 日 (2004.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 5】

請求項 1 において、

前記 L S I と構成が共通の L S I を、鍵生成用 L S I として、開発モードおよび商品動作モードとは異なる鍵生成モードに設定する工程と、

前記鍵生成用 L S I に、暗号化された鍵生成プログラムを実装し、この鍵生成プログラムを実行させることによって、鍵を生成する工程とを備えたことを特徴とするプログラム開発方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】

請求項 5 において、

前記 L S I と構成が共通の L S I を、管理者用 L S I として、開発モード、商品動作モードおよび鍵生成モードとは異なるアドミニストレータモードに設定する工程と、

前記管理者用 L S I において、前記鍵生成プログラムを開発し、任意の鍵で暗号化する工程とを備えたことを特徴とするプログラム開発方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 0

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 0】

請求項 5 の発明では、前記請求項 1 において、前記 L S I と構成が共通の L S I を鍵生成用 L S I として開発モードおよび商品動作モードとは異なる鍵生成モードに設定する工程と、前記鍵生成用 L S I に暗号化された鍵生成プログラムを実装し、この鍵生成プログ

ラムを実行させることによって鍵を生成する工程とを備えたものとする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

請求項７の発明では、前記請求項５において、前記ＬＳＩと構成が共通のＬＳＩを管理者用ＬＳＩとして、開発モード、商品動作モードおよび鍵生成モードとは異なるアドミニストレータモードに設定する工程と、前記管理者用ＬＳＩにおいて前記鍵生成プログラムを開発し、任意の鍵で暗号化する工程とを備えたものとする。